



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和 3年 1月 12日

発行者 園長 末永 寿宣

1月号

一人一人を大切にしたい表現活動

～感じたことを自分なりに表現する力を育成する～

園長 末永 寿宣

年長すみれ組の子どもたちが、表現参観で、保護者へ見事な演技を披露しました。色や形、言葉や音、出来事との出会いの中で、感じたことを自分たちで考え、劇として表現しました。

年長さんの姿を見て、年中たんぽぽ組さん、年少もも組さんが、真似をして表現遊びを楽しんでいる様子をお伝えします。



5歳 すみれ組

劇は、登場する役もお話も台詞も、全て子どもたちが相談して作り上げました。練習の様子をビデオにとり、みんなで客観的に見たことで、改善点も自分たちで見つけることができました。

○表現活動で大切にしたいこと

◇子どもの「やりたい」「すごい」「楽しい」という子どもたちの気持ちを大切にする表現活動を目指しています。

◇表現活動には、コミュニケーション力を育む力があります。表現

活動を通して生まれてくる子どもたちの声をしっかりと感じ、子どもたちの思いを感じ取って保育しています。

◇つい「こうしてみたら？」と、きれいな作品へと導きがちですが、子どもが「やった」「満足した」と自分なりにやり切れたという思いを大切にしています。

◇のびのびと自由に表現することが、何よりも大切です。日頃から、遊びを通した楽しい表現活動に取り組んでいます。

合奏は、運動会で踊った「ふじさん、はいはい！」を奏でました。最後のポーズも決まっていた。子どもたちの自信に満ちた姿に感動しました。



歌を披露するころには、すっかり緊張も消え、楽しい気持ちで舞台に立つ

ことができていました。全力の掛け声「えい、やあ！」が会場に響き渡っていました。

4歳 たんぽぽ組 劇ごっこ「もりのおふろ」



「ゴシゴシしゅっしゅっ」とそれぞれ好きな役になりきって、友だちの背中を洗います。



最後は、みんなで湯にどぼーん! 「ごらくごらく」と簡単なお話だからこそ、イメージを共有するのが容易で、みんなで表現する楽しさを味わうことができます。

3歳 もも組 劇遊び「おおきなかぶ」「三びきのこぶた」

「おおきなかぶ」の劇遊びをしました。前日まで「三びきのこぶた」ごっこでセリフを言ったり、なりきって動いたりして、楽しさを感じ、新しい話に沿って動くことも楽しんでいきます。



今後も、「やりたい」「すごい」「楽しい」という子どもたちの気持ちを大切にする表現活動を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

○もちつき大会/暖かい日差しの中、もちつきを行いました。職員室からもち米を蒸す匂いが漂ってくると、「お米のおいがる! おもちつきするよね!」と楽しみにしていました。子どもたちは大きな声で応援していました。



子どもたちも順番につきました。「杵が重かったなあ」と本物の感触に驚いていました。

お餅は鏡餅になりました。こねて成形しているところを見ていた子どもたちは「大きな肉まんみたいだね」と目を丸くしていました。